

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		1-	4
事業名	庁舎等施設維持管理経費	会計	款	項	目
		一般	2	1	5
政策	4 持続可能な町の経営ができるために	課名	総務課		
施策	4-2 行政機能の確保・管理	係名	総務管財係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	庁舎等	目的 (対象がどのような状態になっているか)	庁舎等公共施設について適正かつ効果的な維持管理を行い安全確保や長寿命化に務めることにより、住民サービスの向上を図る。
事業内容	東員町公共施設等総合管理計画に基づき、個別施設ごとの具体的な対応方針を定める、「東員町個別施設計画(公共建築物)」を策定した。今後は、個別施設計画(長期保全計画)の更新を継続しながら、予防保全的な維持管理や計画的な修繕等を効果的に実施し、施設利用者の安全・安心を確保する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
	1	東員町公共施設等総合管理計画庁内検討委員会の開催回数	1	1			回		10
2									
3									
4									
5									
			令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B			50,714		85,856		71,011		
財源内訳	直接事業費 A		46,256		81,398		66,553		
	うち一般財源		38,536		50,249		60,629		
人件費(千円) B			4,458		4,458		4,458		
内訳	一般職員(人・千円)		0.64	4224	0.64	4224	0.64	4224	
	臨時職員(人・千円)		0.13	234	0.13	234	0.13	234	

0.64

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	個別施設計画更新の継続しながら、施設の維持管理における低炭素化を図る。	③取組の課題	個別施設計画へ直近の資源高等反映できていない。
②R4年度に実施した取り組み	個別施設計画更新を継続し、公共施設等の照明をLED照明へ交換し、脱炭素化を推進できた。	④今後の改善計画	公共施設総合管理計画を令和5年度中に作成する。